



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

● 健康・栄養

> 基本的な考え方

> 体制

> KPI

森永乳業の栄養機能性素材

健康寿命延伸への寄与

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

健康・栄養

基本的な考え方

「かがやく“笑顔”」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。

森永乳業は、健康寿命の延伸や乳幼児が健やかに成長するために、健康・栄養に寄与する商品の開発・販売を中核事業と認識しています。経営理念の実現が健康・栄養のゴールであり、行動指針は従業員一人ひとりがとるべきアクションであると考えています。

健康・栄養は、「お客さまの健やかな“笑顔”あふれる幸せな生活に貢献したい」という想いが起点です。赤ちゃんの健康のため、母乳から広がったビフィズス菌やラクトフェリンの研究など、当社が長年研究を続けている栄養機能性素材がもつ有用性や可能性を探索してきました。

育児用ミルクや特殊ミルクをはじめ、ヨーグルト、介護食・流動食などのさまざまな商品は、人々の健康と笑顔に役立っています。

そして、これからは日本のみならず、世界の人々の健康と栄養に寄与することを目指し、挑戦を続けていきます。

体制

KPIの進捗、確認、報告は年に2回のCSR委員会（委員長：社長）にて行います。また、「重要取組課題：健康・栄養」の責任者を関係本部の本部長が担い、KPIの推進責任者を関係部署の部長が担い、PDCAサイクルを回していきます。また、健康・栄養は、中核事業そのものとの認識から、研究所、マーケティング部門、営業部門、生産部門が部門を横断して連携し、推進していきます。

KPI

活動の方向性	KPI
健康寿命延伸に対する貢献	栄養機能性素材を取り入れた商品の市場投入 健康維持に寄与する栄養機能性素材についての情報発信
乳幼児の健やかな成長への貢献	ビフィズス菌 (M-16V) の提供。国内外で120以上の施設での提供継続

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

▶ **森永乳業の栄養機能性素材**

健康寿命延伸への寄与

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

● **環境**

● **人権**

● **供給**

● **次世代育成**

● **人財育成**

● **コーポレート・ガバナンス**

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

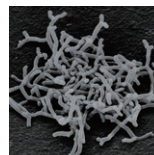
森永乳業の栄養機能性素材

森永乳業は50年以上にわたり、健康維持に関わる素材の研究を行ってきました。

その結果、乳児からお年寄りまで幅広い世代の方々の健康に寄与できることがわかりました。

「ビフィズス菌」

森永乳業のビフィズス菌利用研究は1969年にはじまり、現在までに、赤ちゃんの健康維持から、「ビヒダス」への応用、菌末の世界的供給までも可能にしてきました。



ビフィズス菌入り乳飲料「森永ビヒダス」を1977年に発売、21世紀には、「プロバイオティクス」という概念のもと、乳酸菌やビフィズス菌の具体的な作用や作用メカニズムなどについて多くの研究が行われるようになりました。森永乳業は早くからビフィズス菌に着目し、ビフィズス菌BB536をはじめ、さまざまな研究を行ってきており、日本におけるビフィズス菌のパイオニアを自負しています。

また、一部のビフィズス菌を乾燥させて粉状にした「ビフィズス菌末」は、サプリメントなどに多く使用されています。生きた菌を生きたまま粉末状態にし、室温で長期間安定化させる技術が必要であり、いまでも森永乳業にとって大きな強みとなっています。

現在は、アメリカをはじめ、ヨーロッパ、東南アジアなど、世界のさまざまな地域で森永乳業のビフィズス菌が活躍しています。赤ちゃんからお年寄りまで、世界中の人々の健康に貢献することをめざしています。

◆代表的なビフィズス菌

「ビフィズス菌BB536」は、幅広い年代に活用でき、腸内フローラ改善による、優れた整腸作用など、さまざまな健康作用が期待されています。

「ビフィズス菌B-3」は、抗肥満作用について着目して発見されたビフィズス菌です。

「ビフィズス菌M-16V」は、乳児の腸内フローラの正常化を促進する機能に着目したビフィズス菌で、腸の機能が未発達になりがちな低出生体重児の赤ちゃんに投与することで、ビフィズス菌の定着を早めるとともに、腸の正常な発達を促します。

「ビフィズス菌A1」は、軽度認知障害が疑われる方の認知機能を改善する可能性があるビフィズス菌で、現在も研究を進めています。

WEB

森永乳業のビフィズス菌研究

▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/bifidus/

「ラクトフェリン」

森永乳業では1960年代前半よりラクトフェリン研究に着手しました。ラクトフェリンは、乳(ラクト)中の鉄(フェリン)結合物質であり、母乳の特に初乳に多く含まれ、生まれただけの乳児を守っていると考えられています。

そして1986年、世界で初めてラクトフェリン配合の育児用ミルク「森永BF-L ドライミルク」を販売しました。現在では育児用ミルクにとどまらずラクトフェリン入りのヨーグルトやサプリメントを販売し、赤ちゃんから高齢者に至るまでその対象を広げています。



WEB

森永乳業のラクトフェリン研究

▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/lactoferrin/

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

▶ **森永乳業の栄養機能性素材**

健康寿命延伸への寄与

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

● **環境**● **人権**● **供給**● **次世代育成**● **人財育成**● **コーポレート・ガバナンス**

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

Topics**高品質なラクトフェリンを製造する MILEI 社**

ドイツのロイトキルヒ市に位置する「MILEI GmbH(ミライ社)」は、1975年に生産を開始して以来、約40年の歴史があり、現在は欧州、アジアにおいて高品質なホエイ蛋白濃縮物、乳糖などの乳原料製品を世界的な食品メーカーなどに供給しております。特にラクトフェリンは、高品質で純度が高いものを製造するノウハウを持っており、多数のユーザーから、高い評価を得ています。今後、増産体制を整え、供給力を拡大し、「世界最大規模のサプライヤーのひとつ」としての役割を果たしていきます。

**「ペプチド」**

牛乳には良質なたんぱく質が含まれており、育児用ミルクなどに使用されていますが、牛乳アレルギーのあるおさまは利用できませんでした。そこで、酵素によって消化させた「ペプチド」(乳たんぱく質分解物)を開発しました。

1977年にペプチドを配合した日本で初めてのアレルギー疾患用ミルク「MA-1」を発売しました。さらに、半世紀以上にわたる育児用ミルク開発の技術・知識・経験を重ね、融合し、1994年にはミルクのアレルゲン性に配慮した「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」も発売しました。

また近年では「MKP®(メチオニン-リシン-プロリン)」という、カゼイン由来



のトリペプチドで特許を取得しました。血圧が高めの方を対象とした臨床試験で、その血圧降下作用が確認されています。

WEB

森永乳業のペプチド研究

▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/peptide/**「ラクチュロース」**

ラクチュロースは、牛乳に含まれる乳糖を原料としてつくられる糖類です。ラクチュロースはビフィズス菌を増やす役割があると研究を続け、1960年、森永乳業はラクチュロースを配合した育児用ミルク「森永Gドライミルク」を発売しました。



WEB

森永乳業のラクチュロース研究

▶ https://www.morinagamilk.co.jp/learn_enjoy/research/story/lactulose/

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

森永乳業の栄養機能性素材

> **健康寿命延伸への寄与**

乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

● **環境**

● **人権**

● **供給**

● **次世代育成**

● **人財育成**

● **コーポレート・ガバナンス**

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

健康寿命延伸への寄与

森永乳業では、「人生100年時代」に向けて、健康寿命の延伸をテーマに商品の研究・開発を進めています。ただ長生きするだけではなく、健康でハツラツとした人生を送るために、栄養機能性素材を活かした商品を研究・開発し、お客さまに提供していきます。

「トリプルヨーグルト」

血圧・血糖値・中性脂肪に関する3つの機能性を表示したヨーグルトです。トリペプチドMKP[®]が高めの血圧（収縮期血圧）を下げ、難消化性デキストリン（食物繊維）が食後の血糖値・中性脂肪の上昇を穏やかにします。



「ミルク生活」

ビフィズス菌BB536、ラクトフェリン、シールド乳酸菌などの栄養機能性素材を配合した、大人向けの粉ミルクです。栄養素がバランスよく含まれ、手軽に摂ることができます。



「森永乳業のサプリメント」

機能性表示食品であるビフィズス菌BB536、ビフィズス菌B-3、ラクトフェリンなど、栄養機能性素材を手軽に摂取できます。



「医療食・介護食」

森永乳業グループでは、高齢や病気の方も食の喜びを感じることで、「Quality of Life（生活の質）」を維持できるよう、おいしさ、栄養価、安全性、食べやすさなどに細やかに配慮した医療食・介護食の研究開発に取り組んでいます。

医療・介護現場の声を基に、森永乳業グループの株式会社クリニコと、森永乳業の健康栄養科学研究所が連携して、流動食、栄養補助食品、ゼリー食品、嚥下困難者向けのとろみ調整食品などの医療食・介護食を開発・販売しています。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

● **健康・栄養**

基本的な考え方

体制

KPI

森永乳業の栄養機能性素材

> **健康寿命延伸への寄与**

> **乳幼児の健やかな成長への貢献**

公衆衛生の向上

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

栄養機能性素材に関する情報発信

森永乳業グループは、栄養機能性に関する研究成果をはじめとするさまざまな情報を、お客さまはもちろん、お取引先をはじめとしたさまざまなステークホルダーに向けて発信しています。

【シンポジウムや展示会】 (国内)

2018年度は16を超える学会において、発表を行いました。その内、第72回日本栄養・食糧学会での「アロエベラ由来植物ステロールの新規保健機能研究と機能性食品への応用」発表では、平成30年度日本栄養・食糧学会技術賞を受賞しました。

また、2019年2月には順天堂大学「腸内フローラ研究講座」公開シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、脳と腸の関係について、大腸疾患と腸内細菌叢の関係などの講演が開催され、110名を超える方が聴講されました。



公開シンポジウムの様子

(海外)

海外でのシンポジウムや展示会には年に20回程度と、積極的に参加しており、海外のパートナー会社とも協力して栄養機能性素材をアピールしています。

2019年2月11日～15日にデンマークで開催された「Probiota学会」に出席しました。本学会はプロバイオティクスのパイオニア企業が集まり、最新の研究成果を紹介し合う場で、森永乳業はヒト常在のビフィズス菌を用いた研究を発表しました。

毎年ヨーロッパとアジアで開催されている、食品・機能性原料・革新的技術に関して発信する展示会「Vitafoods」では、森永乳業のビフィズス菌について講演しています。

2018年11月に、インドネシアでのパートナーであるSANGHIANG PERKASA (SHP) 社と共同で、小児科医向けのラクトフェリンに関するシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、主催者であるインドネシア小児科学会のアマン会長から、「同国で深刻な課題である感染症に対してラクトフェリンが果たす役割は大きい」と期待が示されました。



乳幼児の健やかな成長への貢献

森永乳業は、乳幼児の健やかな成長・発達に貢献したいという思いから、1920年代より育児ミルクの研究・開発を行うとともに、より母乳に近づけるべく、たんぱく質や脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラルといった栄養成分やラクトフェリンなどを配合した育児用ミルクの研究に取り組んできました。近年、日本国内はもちろんのこと、海外の子どもたちの栄養に寄与するため、アジアを中心に育児用ミルク事業を展開しています。

これからも、母乳に備わる「育む力」と「守る力」に関する長年の研究・開発を続けていきます。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

- **健康・栄養**
 - 基本的な考え方
 - 体制
 - KPI
 - 森永乳業の栄養機能性素材
 - 健康寿命延伸への寄与
- > **乳幼児の健やかな成長への貢献**
 - 公衆衛生の向上
 - 環境
 - 人権
 - 供給
 - 次世代育成
 - 人財育成
 - コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

アジアで栄養インフラ構築に貢献

東南アジアを中心とした新興国では、急速な人口増加・都市化が進んでいます。都市部に人口が集中するほど、安全で高品質な食料・食品を供給する「栄養インフラ」の構築が重要な課題となります。その課題解決の一端を担うことは、私たち食品企業の社会的使命ともいえます。

森永乳業では、育児用ミルクの供給を重要な「栄養インフラ」の一環と捉えています。日本をはじめ、インドネシアなどの海外製造拠点で育児用ミルクを製造し、インドネシア、パキスタン、マレーシア、ベトナムなどを中心に展開しています。世界の子どもたちが健やかに成長できる環境づくりへの貢献をめざしています。

育児用ミルクの海外への展開



低出生体重児へのビフィズス菌 M-16V の提供

通常、健康で生まれた赤ちゃんの腸内フローラは、90%以上がビフィズス菌です。しかし、出生時の体重が1,500g未満の極低出生体重児または超低出生体重児は、腸管が未発達でビフィズス菌の定着が遅れ、大腸菌や黄色ブドウ球菌などの悪い菌がふえてしまいます。森永乳業では、大学病院と共同研究を進め、独自に開発したビフィズス菌 M-16V を、極低出生体重児または超低出生体重児に投与することで、ビフィズス菌優位な腸内細菌叢をより早く形成し、新生児に発症すると危険な壊死性腸炎（NEC）や敗血症を予防できることがわかってきました。



現在ではNICU（新生児集中治療室）や小児科など、全国120以上の施設に提供されており、多くの赤ちゃんの健全な成長を支えています。また、ビフィズス菌 M-16V による低出生体重児への効果は、学会や論文を通じて海外にも伝わり、2012年よりオーストラリアのNICUでも使用されています。さらに近年では、ニュージーランド、シンガポールのNICUでも使用が始まりました。森永乳業では、引き続き世界中の赤ちゃんやお子さまの健全な成長を支えたいと考えています。

ビフィズス菌 M-16V の提供実績

= 1包

	2014	2015	2016	2017	2018
国内(包)	116,000	152,000	171,000	197,000	210,000
海外(包)	26,000	31,000	43,000	62,000	75,000

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

●健康・栄養

基本的な考え方

体制

KPI

森永乳業の栄養機能性素材

健康寿命延伸への寄与

＞ 乳幼児の健やかな成長への貢献

公衆衛生の向上

●環境

●人権

●供給

●次世代育成

●人財育成

●コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

特殊ミルク

森永乳業では、育児用ミルクを製造・販売する会社として、日本国内向けにミルクアレルギーなどをお持ちのお子さまが安心して飲んでいただける、育児用ミルクや、先天性代謝異常症などの疾患に個別に対応した特殊ミルクを販売しています。

市販の特殊ミルク

ミルクアレルギーや乳糖不耐症、胃食道逆流症、低出生体重児のお子さま向けの特殊ミルクを提供しています。



市販の特殊ミルク

商品名	特徴
森永ニュー MA-1	たんぱく質を高度に酵素消化したミルクアレルギー用のミルク
森永 MA-mi	アレルギー性を低減しながら、「栄養バランス」「風味」「溶け」を改善したミルクアレルギー用のミルク
森永ノンラクト	乳糖不耐症、下痢をしているお子さま用の無乳糖ミルク
森永 AR ミルク	天然由来のトロミ成分（ローカストビーンガム）を配合し、ミルクの粘度を高くして、胃食道逆流症のお子さまにも飲みやすいミルク
森永 GP-P	低出生体重児用のミルク

先天性代謝異常症等のお子さま用のミルク

先天性代謝異常症等のお子さまの栄養補給に欠かすことのできない特殊ミルクを、安全開発委員会*の指導のもと、医療機関に提供しています。

先天性代謝異常症等は、重篤な疾患ですが、新生児の早期に発見し、食事療法などをはじめれば、多くのお子さまが健康に成長



できます。そこで、先天性代謝異常症等のお子さまのそれぞれの疾患に合わせてミルクからたんぱく質を取り除いたり、リン濃度を低くするなどの特別な処理を行う必要があります。このような特別なミルクには、高度な製造技術が求められるため、森永乳業が長年培ってきた、乳幼児栄養に関する知識と経験が大いに活かされています。2018年度は年間約5,500缶を提供しました。

*安全開発委員会

先天性代謝異常症のお子さまの治療に使用される特殊ミルクを改良開発し、安定的に提供するため、昭和55年に厚生省（当時）の指導と公費の助成のもとに「特殊ミルク共同安全開発事業」が立ち上がりました。この事業では、特殊ミルクに必要とされる一定の基準を制定し、その品質、成分、使用法などを定めるとともに、特殊ミルクの改良および開発や安定供給を行っています。同時に、この事業を円滑に運営する機構として、学識研究者と乳業会社の所長等からなる「安全開発委員会」が発足しました。

先天性代謝異常症等のお子さま用の特殊ミルクの種類

分類	主な適応症	記号	品名
蛋白質・アミノ酸代謝異常	フェニルケトン尿症	MP-11	低フェニルアラニンペプチド粉末
電解質代謝異常	副腎皮質機能不全	MM-2	低カリウム乳
	心、腎疾患	MP-2	低蛋白質低塩乳
	特発性高カルシウム血症	MM-4	低カルシウム乳
吸収障害	副甲状腺機能低下症 偽性副甲状腺機能低下症 腎疾患	MM-5	低リン乳
	脂質吸収障害症	ML-1	低脂肪乳
その他	嚢胞性線維症 シトリン欠損症	ML-3	蛋白質加水分解MCT乳

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

トップコミットメント

サステナビリティへの取り組みのあゆみ

森永乳業のCSR

7つの重要取組課題

● 健康・栄養

基本的な考え方

体制

KPI

森永乳業の栄養機能性素材

健康寿命延伸への寄与

> 乳幼児の健やかな成長への貢献

> 公衆衛生の向上

● 環境

● 人権

● 供給

● 次世代育成

● 人財育成

● コーポレート・ガバナンス

データ集

第三者保証

GRIスタンダード対照表

母乳添加用粉末

母乳添加用粉末は、極低出生体重児のために、母乳の栄養分を強化することを目的としており、森永乳業では「HMS-1」「HMS-2」を扱っています。

体重1,500g未満の小さな赤ちゃんは、消化吸収機能などの体の機能も未発達で合併症なども起こしやすい状態です。そのため、十分な栄養摂取により体の機能を早く発達させなければなりません。しかし、このような赤ちゃんは母乳だけではカロリーやさまざまな栄養素が相対的に不足してしまいます。そこで、HMS-1および2は、お母さんの母乳だけでは不足してしまうたんぱく質、カルシウムやリンなどの微量元素を強化する他、熱量も高めることで、赤ちゃんのより早い成長を促すことができます。2018年度は約1万5千箱（HMS-1）、約1万2千箱（HMS-2）の合計2万7千箱を販売しました。

※ HMS-1は100包/箱、HMS-2は60包/箱



公衆衛生の向上

ピュアスターでの健康への寄与

微酸性電解水生成装置「ピュアスター」は、高い殺菌効力と安全性をめざして森永乳業が開発した衛生管理装置です。約20年前に販売を開始し、2019年3月末までに約6,000件以上の販売実績があります。

「ピュアスター」が生成する微酸性電解水は、一般に殺菌に使われている消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウムとは異なり、肌への影響が少なく、しかも誤って口に入っても安全であることが確認されています。さまざまなウイルスや食中毒菌・病原菌への殺菌効果が実証されており、食品加工をはじめ、衛生管理を必要とするいろいろな現場で有効です。

すでにお使いいただいているお客さまからも「殺菌料なのに水道水のように気軽に使え、現場での衛生管理に欠かせなくなっている」とご好評をいただいています。

森永乳業がめざすのは、長年培ってきた衛生管理の技術を社会へ還元し、人々の健康的な生活を守ること。現在もさまざまな使い方の開発を繰り返し、新たな貢献を生み出す努力を続けています。



微酸性電解水生成装置
「ピュアスターミュークリーンII」



機器の洗浄をはじめとして、さまざまな用途で使用できます